

Ciné-là

NEWS

VOL.332

シネラニュース

Fukuoka City
Public Library
Movie Hall
Ciné-là

11

November, 2025



企画上映

ウカマウ集団60年の全軌跡:20世紀編

コミュニティシネマフェスティバルvol.1 | 日韓映画館の旅

韓国映画1950年代傑作選

通年上映

アーカイブ発見 / 午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

成績表のキム・ミンヨン

【料金】 〈コミュニティシネマフェスティバルvol.1 日韓映画館の旅〉〈韓国映画1950年代傑作選〉

一般=1,400円 / 学生(大学生・高校生・中学生・小学生)および各種割引=700円

※以下の方が割引となります(要証明書・会員証原本提示) ①福岡市在住の65歳以上の方 / ②「わたすクラブ」会員 / ③障がい者の方および介護者の方1名

〈ウカマウ集団60年の全軌跡:20世紀編〉〈アーカイブ発見〉〈午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス〉

〈11/9[日]、11/14[金]「1000年刻みの日時計 牧野村物語」〉〈11/30[日]「豆満江」〉

大人=500円 / 大学生・高校生=400円 / 中学生・小学生=300円

福岡市在住の65歳以上の方・わたすクラブ会員=250円(要証明書・会員証原本提示) / 障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

□ 定員(242席+車椅子席4席)・各回入替制 / 当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分後まで)

fiaf

国際フィルムアーカイブ連盟
FIAFは映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

ボリビア独立200周年・日本との協働50周年記念

ウカマウ集団60年の全軌跡： 20世紀編

11月1日[土]、2日[日]、6日[木]～8日[土]

アンデス地域の先住民の視点に立った映画づくりで、
世界に衝撃を与えたボリビアの映画集団ウカマウの軌跡を展観する。
※12月には「21世紀編」4作品を上映予定。

配給：シネマテーク・インディアス / 配給協力：スタンス・カンパニー、ムヴィオラ

©すべてボリビア(ウカマウ集団) / ホルヘ・サンヒネス監督作品 / 福岡市総合図書館収蔵作品

人民の勇気 El Coraje del Pueblo 6 [木] 14:00

1967年6月24日、チェ・ゲバラ指揮下のゲリラの連帯を計画していた鉱山労働者の住宅区を政府軍が攻撃、多数が殺された。現場に居合わせた人びとの証言を通して再構成される歴史的事実。「史上もっとも力強い映画」と評価された。1971年ベルリン映画祭 OCIC (国際カトリック教会)賞、ベサロ映画祭最優秀映画賞受賞。



1971 / 白黒 / 93分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

革命 Revolución

2本立て
上映

ウカマウ Así es

1 [土] 11:00

ありのままの画像・音楽・音を用いて、ボリビア民衆の貧窮の実態を示す第1作短編。1964年ライブチヒ映画祭ヨリス・イヴェンス賞受賞。



1962 / 白黒 / 10分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

Ukamau (アイマラ語原題)

ティティカカ湖上の太陽の島に住むインディオ農民の妻が、メステーションの仲買人に暴行され、殺された。長い時間をかけての復讐を誓った青年の前途は？本作が大きな評判を得て、タイトルが集団名として採用された。1966年カンヌ映画祭青年監督賞受賞。



1966 / 白黒 / 75分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

第一の敵 El Enemigo Principal 7 [金] 14:00

Jatun Auk'a (ケチュア語原題)

都市からやってきたゲリラと貧農の出会いから、反地主・反帝国主義の共同闘争の過程を描く。1980年日本で最初に紹介されたウカマウ集団の作品で、この映画が高い評価を得て、その後45年続く自主上映・共同製作の基盤をつくった。1975年カルロヴィヴァリ映画祭グランプリほか受賞。



1974 / 白黒 / 94分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

落盤 Derrumbamiento

2本立て
上映

コンドルの血 Sangre de Cóndor 2 [日] 11:00

2 [日] 11:00

掘り尽くしたと見なして鉱山企業が見捨てた危険な場所で採石する鉱夫たちを描く。



1965 / 白黒 / 20分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

Yawar Mallku (ケチュア語原題)

アンデスの一寒村に医療チームを名乗ってやってきた北米人たちは、診療所で何をしていったのか？現実の出来事を題材に、先住民女性に対する強制的な不妊手術の実態を描く。北米「平和部隊」の国外追放を実現した話題作。1970年仏ジョルジュ・サドール賞ほか受賞。



1969 / 白黒 / 70分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

ここから出ていけ! 8 [土] 14:00

Fuera de Aquí! Lloksy Kaymanta (ケチュア語原題)

アンデスの先住民村に現れた北米人宣教師の、真の意図は？村人の間に生じた精神的な亀裂につけ込んで、鉱物資源開発を目指して入り込む多国籍企業。先住民居住区にある資源は誰のものかを問う、先駆的な問題提起の映画。1977年カンヌ映画祭監督週間正式出品ほか。



1977 / 白黒 / 102分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

ただひとつの拳のごとく 8 [土] 17:00

Las Banderas del Amanecer

1970年代の10年間に支配した軍事政権は、80年代初頭のどんな民衆運動によって打倒されたのか。今まさに胎動している民衆運動を内部から描いた、ウカマウ集団はじめてのドキュメンタリー作品は、群衆シーンの力強さが印象的。1983年ハバナ新ラテンアメリカ映画祭ドキュメンタリー部門グランプリ受賞。



1983 / カラー / 92分 / 16ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

地下の民 La Nación Clandestina 2 [日] 14:00

街に暮らしてきた先住民セバスチャンは、かつて追放された村に帰る決意を固めた。現実と虚構、過去と現在を交錯させた大胆な手法で、過去への償いの旅を続ける男を通して、民族的アイデンティティの喪失と再生を描いた力作。1989年サンセバスチャン映画祭グランプリ、ハバナ新ラテンアメリカ映画祭 外国紙グラウベル・ローシャ賞受賞。



1989 / カラー / 125分 / 35ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

鳥の歌 1 [土] 14:00

Para Recibir el Canto de los Pájaros

16世紀、アンデスを「征服」したスペイン人遠征隊の事業を批判的に捉える映画を作ろうとした映画スタッフが、ロケ地の先住民村で直面した現実とは？「ここから出ていけ」とまで迫られた映画人たちがたどる内省の過程を描く。ジュラルディン・チャプリン主演。1995年ロカルノ映画祭「質と刷新」賞、ボリビア映画祭銀撫子賞受賞。



1995 / カラー / 100分 / 35ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き

「通年上映」アーカイブ発見 Discover the Archive

ナント三大陸映画祭グランプリ受賞など、2010年代以降の独立系映画新潮流の先鞭をつけた、空族(くぞく)の傑作長編を貴重な35ミリフィルムで上映します。

サウダーヂ Saudade 1 [土] 17:00 22 [土] 17:00

山梨県・甲府。ヒップホップグループ「アーミー・ビレッジ」の猛は、土木建築業に派遣で働き始め、建築業ひとすじに生きてきた精司や、同じく派遣されてきたタイ帰りの保坂に出会う。やがて猛は、外国人を敵視するようになる。監督の富田克也は当時トラック運転手しながら、共同脚本の相澤虎之助らとともに1年半の歳月をかけて作り上げた。



2011 / 日本 / カラー / 162分 / 35ミリフィルム上映
監督：富田克也 出演：鷹野毅、伊藤仁、田我流、ディーチャイ・パウイナ

「通年上映」午前11時の日本映画・アジア映画 クラシックス Classics

収蔵作品から、日本とアジアの選りすぐりの古典映画や名作を木曜・金曜・土曜に週替わりで上映します(不定期)。

同命鴛鴦 6 [木] 11:00 7 [金] 11:00 8 [土] 11:00

Eternal Love

シー・ションは科挙の試験を首席で合格し、故郷で名家の娘と結婚する。ーションの母親は父親が亡き後、貞節を守って子育てしたことで表彰されるのだが、実は叔父と関係をもっていた。チュー・シーリン監督は戦後の香港映画の基礎を作った巨匠。本作は福建省の古典歌劇を脚色したもので、チュー・シーリン監督の代表作。



1960 / 香港 / 93分 / カラー / 35ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き
監督：チュー・シーリン 出演：フー・チー、シア・モン

マダムと女房 27 [木] 11:00 28 [金] 11:00

The Neighbor's Wife and Mine

東京の郊外に劇作家が引っ越してくるところが隣の家からジャズが聴こえてくるさくて仕事にならない。文句を言おうとした劇作家は、隣のマダムの魅力に参ってしまう。日本で最初の本格トーキーによる長編劇映画。田中絹代は劇作家の妻を演じており、その夫に代る新妻の演技の初々たさがファンを虜にした。



1931 / 日本(松竹) / 56分 / 白黒 / 35ミリフィルム上映
監督：五所平之助 出演：渡辺篤、田中絹代

コミュニティシネマフェスティバル vol.1

日韓映画館の旅

日本未公開の韓国映画が、韓国の映画館(ミニシアター)が、やってくる!

11月9日[日]、12日[水]～16日[日] / 韓国映画1950年代傑作選 11月19日[水]～24日[月休]、27日[木]～29日[土]

主催・協力:コミュニティシネマフェスティバル 実行委員会(シネ・ヌーヴォ、ストレンジジャー、特定非営利活動法人たかきコミュニティシネマ、ユーロスペース、福岡市総合図書館、一般社団法人コミュニティシネマセンター)
共催:韓国芸術映画館協会 助成:芸術文化振興基金助成事業/韓国映画振興委員会 協力:アウラ(日本語字幕制作) 協力・作品提供(1950年代韓国映画傑作選):韓国映像資料院

Ⓐ 日本未公開・韓国芸術映画館協会賞受賞作品 Ⓑ 映画館を撮ったドキュメンタリー Ⓒ 日本のミニシアターが推す最新作と、ミニシアター上映の源流 Ⓓ 1950年代韓国映画傑作選

イベント

敬称略
いずれも映画上映とセットでご鑑賞いただけます

11月16日[日]

① 11:00 「Mr.キム、映画館へ行く」
上映後、キム・ドンホ(元・釜山国際映画祭ディレクター)
舞台挨拶、Q&A

② 14:00 「成績表のキム・ミンヨン」
上映後(15:40-16:30/予定)
イ・ジェウン、イム・ジソン(本作監督)および
小田香(映画作家)によるトークイベント

11月22日[土]

14:00 「洛東江」上映前および上映後にオ・ソンチ、
パク・セホ(ともに韓国映像資料院)による作品解説あり
(15:30終了予定)

成績表のキム・ミンヨン (第1回受賞作品) Ⓐ

Kim Min-young of the Report Card

13 [木] 11:00 16 [日] 14:00



「三行詩クラブ」を作って寮生活をともにしたチョンヒ、ミンヨン、スサンナ。永遠になりそうだった友情も、高校卒業を経て徐々に変化していく。ソウルで生活するミンヨンは、ある日チョンヒを家に招待する。チョンヒは高校時代一緒にすることを約束したリストを思い浮かべて、気持ちよくミンヨンの家を訪問するが...

2022/韓国/カラー/97分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:イ・ジェウン、イム・ジソン

ロンリー・アイランド (第2回受賞作品) Ⓐ

A Lonely Island in the Distant Sea

13 [木] 14:00 15 [土] 11:00



将来を囑望される彫刻家だったユンチョルは妻と離婚した後、地方小都市で何でも納品するインテリア業者として暮らしている。ユンチョルには、美術の才能をもつ娘のジナがいるが、高校生活にはうまくなじめない。美大進学をあきらめたジナは、突然出家してしまう。ユンチョルもある女性に出会い、予測できない恋に落ちてゆく。

2023/韓国/カラー/110分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:キム・ミヨン

長孫 家族の季節 (第3回受賞作品) Ⓐ

House of the Seasons

12 [水] 14:00 15 [土] 17:00



慶北の田舎で豆腐工場を営むキム氏一家の法事の日、三代にわたる家族全員が集まる。法事が終わると家業である豆腐工場の運営問題を巡って対立し、さらに長男のソンジンが家業を継がないと宣言してしまう。突然の別れが重なって、大家族の70年来の秘密が徐々に明らかになってゆく。

2024/韓国/カラー/121分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:オ・ジョンミン

ウォンジュ・アカデミー劇場の記録 Ⓑ

Wonju Academy Cinema

15 [土] 14:00



2021年の韓国映画「オマージュ」でも印象的なロケーションとして用いられたアカデミー劇場。その、地域に残る築60年の劇場を守ろうとする市民の夢と希望は踏みにじられ、声は封じられてしまった。古き良き単館映画館を愛する人々の物語。韓国語原題は「倒れない(무너지지 않는다)」。

2023/韓国/カラー/101分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:キム・グイミン、イ・ミヒョン、チェ・ウンジ

Mr.キム、映画館へ行く Ⓑ

Mr.Kim Goes to the Cinema

16 [日] 11:00



釜山国際映画祭の元ディレクター、キム・ドンホが初めて手がけた長編ドキュメンタリー。韓国、日本、台湾、インドネシアなど劇場や映画祭を巡り、イ・チャンドン、パク・チャヌク、ポン・ジュノ、是枝裕和、ツァイ・ミンリャン、ガリン・ヌグロホといった著名な映画人たちと対話し、コロナ禍を経た映画の現在地を記録する。

2025/韓国/カラー/104分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:キム・ドンホ

Undrground アンダーグラウンド Ⓒ

Undrground

9 [日] 11:00 14 [金] 11:00



ボスニア、メキシコの地下を撮ってきた小田香が、丹念なりサーチをもとに日本の地下にカメラを向け、新境地となった最新長編。本作は、東京、大阪、名古屋の劇場が「新作を上映したい作家」として小田を指名したことが契機となり制作がスタートした。東京、ベルリン以後、各地の映画祭で驚きをもって迎えられている。

2024/日本(トリクスタ)/カラー/83分/DCP上映
監督:小田香

1000年刻みの日時計 牧野村物語 Ⓒ

※途中5分休憩あり

9 [日] 14:00 14 [金] 14:00



日本を代表するドキュメンタリストである小川紳介は、山形県の牧野村に移住し、稲を育て暮らしを営みながら、映画制作を行った。科学映画や劇映画などの手法も駆使し、記録映画の枠を超えた異形の傑作。1987年、本作専用の劇場を京都に建設し、上映活動を行った若者たちが、その後関西のミニシアターの源流を作った。

1987/日本(小川プロダクション)/カラー/223分/16ミリフィルム上映
監督:小川紳介 福岡市総合図書館収蔵作品

洛東江 Ⓓ

Naktong River

20 [木] 11:00 22 [土] 14:00



イ・ウンサン(詩)の詩「洛東江」を原作に、「伝統の洛東江」「勝利の洛東江」「希望の洛東江」という三章形式で構成される。洛東江の诗情あふれる映像と実際の戦争記録映像が合わさるセミドキュメンタリー。朝鮮戦争時に制作された韓国映画14作のうち1作で、映像と音が完全な状態で残された映画フィルムとして記録的価値が大きい。

1952/46分/白黒/DCP上映/日本語字幕付き
監督:チョン・チャンゴン

ピアコル Ⓓ

Piagol

19 [水] 14:00 24 [月休] 14:00



休戦後、半島南部の智異山(ちりさん)に残留したパルチザンたちの奮闘を暴露し、共産主義理念に疑問を感じた主人公が、韓国社会に帰順する。戦争の心理的傷跡を描き出した。

1955/109分/白黒/DCP上映/日本語字幕付き
監督:イ・ガンチョン

未亡人 Ⓓ

The Widow

21 [金] 11:00 23 [日祝] 11:00



韓国初の女性監督作品。幼い娘を抱えた朝鮮戦争の未亡人を主人公に、性的欲望と母性との葛藤を捉えている。現存するプリントは最終巻が失われ、最後約10分間は音が欠落している。

1955年/白黒/76分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:パク・ナムク

嫁入りの日 Ⓓ

The Wedding Day

21 [金] 14:00 24 [月休] 11:00



結婚式の失敗を描いたコメディ。1934年に発表されたオ・ヨンジンの戯曲「孟進士(メンジンサ)の慶事」が、初めて映画化された本作は、韓国映画として初めて海外映画祭で受賞した。

1956/白黒/80分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:イ・ヒョンイル

自由夫人 Ⓓ

Madame Freedom

23 [日祝] 14:00 27 [木] 14:00



当時話題を呼んだ新聞連載の同名小説が原作。ある大学教授夫人を主人公に、女性の自立と社会変化を描き、観客を驚かせた大胆なドラマ。1956年興行1位を記録した大ヒット作。

1956/白黒/126分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:ハン・ヒョンモ

地獄花 Ⓓ

The Flower in Hell

22 [土] 11:00 28 [金] 14:00



朝鮮戦争後のソウルにおける愛、裏切り、生存を描いたハードなフィルムノワール。50-60年代の韓国映画の巨匠・シン・サンオクによる初期代表作。朝鮮戦争後の社会を描き出す。

1958/白黒/88分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:シン・サンオク

お金 Ⓓ

Money

20 [木] 14:00 29 [土] 14:00



朝鮮戦争が休戦となり平和が戻ってくるが、都市にも農村にも無残な焼け跡が残り、貧困が襲っていた。素朴な農夫を主人公に、1950年代後半の農村の現実を赤裸々に提示する。

1958/白黒/88分/DCP上映/日本語字幕付き
監督:キム・ソンドン

1 [土]	11:00 ●革命+ウカマウ	14:00 ●鳥の歌	17:00 ★サウダーチ
2 [日]	11:00 ●落盤+コンドルの血	14:00 ●地下の民	
3 [月祝]	第32回福岡映像コンテスト		
4 [火]	休館日		
5 [水]	休映日		
6 [木]	11:00 ☆同命鴛鴦	14:00 ●人民の勇氣	
7 [金]	11:00 ☆同命鴛鴦	14:00 ●第一の敵	
8 [土]	11:00 ☆同命鴛鴦	14:00 ●ここから出ていけ!	17:00 ●ただひとつの拳のごとく
9 [日]	11:00 ◆Underground アンダーグラウンド	14:00 ◆1000年刻みの日時計 牧野村物語	
10 [月]	休館日		
11 [火]	休映日		
12 [水]		14:00 ◆長孫(チャンソン) 家族の季節	
13 [木]	11:00 ◆成績表のキム・ミンヨン	14:00 ◆ロンリー・アイランド	
14 [金]	11:00 ◆Underground アンダーグラウンド	14:00 ◆1000年刻みの日時計 牧野村物語	
15 [土]	11:00 ◆ロンリー・アイランド	14:00 ◆フォンジュ・ アカデミー劇場の記録	17:00 ◆長孫(チャンソン) 家族の季節
16 [日]	11:00 ◆Mr.キム、 映画館へ行く 上映後 キム・ドンホ監督 舞台挨拶+Q&A	14:00 ◆成績表のキム・ミンヨン 上映後トークイベント: イ・ジェウン監督、 イム・ジン監督 +小田香(映画作家)	
17 [月]	休館日		
18 [火]	休映日		
19 [水]		14:00 ◆ピアコル	
20 [木]	11:00 ◆洛東江	14:00 ◆お金	
21 [金]	11:00 ◆未亡人	14:00 ◆嫁入りの日	
22 [土]	11:00 ◆地獄花	14:00 ◆洛東江 上映前・上映後に オ・ソンチ、パク・セホ(ともに韓国映像資料院) による作品解説あり(15:30終了予定)	17:00 ★サウダーチ
23 [日祝]	11:00 ◆未亡人	14:00 ◆自由夫人	
24 [月休]	11:00 ◆嫁入りの日	14:00 ◆ピアコル	
25 [火]	休館日		
26 [水]	休映日		
27 [木]	11:00 ☆マダムと女房	14:00 ◆自由夫人	
28 [金]	11:00 ☆マダムと女房	14:00 ◆地獄花	
29 [土]	11:00 ☆マダムと女房	14:00 ◆お金	
30 [日]	11:00 豆満江(とまんこう)	14:00 福岡ユネスコ・アジア文化講演会	

- =[企画上映] ウカマウ集団60年の全軌跡:20世紀編
- ◆=[企画上映] コミュニティシネマフェスティバルvol.1 | 日韓映画館の旅
- ★=[通年上映] アーカイブ発見
- ☆=[通年上映] 午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

[12月のシネラ上映予告]

- PFFアワード2025福岡上映&アジアのニューウェーブ 韓国編
- ウカマウ集団60年の全軌跡:21世紀編

第32回福岡映像コンテスト

毎年恒例のアマチュア制作の映画コンテスト。優秀作品には「福岡市長賞」や「総合図書館賞」が贈られます。
日時 11月3日[月祝] 11:00~表彰式/13:00~上映会
観覧料 無料
主催 福岡映像協会 **共催** 福岡市総合図書館

2025年度 福岡ユネスコ・アジア文化講演会 「私が影響を受けた日本映画」

主催 一般財団法人 福岡ユネスコ協会 **共催** 福岡市教育委員会、福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会 **協力** 福岡アジア文化賞委員会

11月30日[日]

13:30 開場/14:00 開会、主催者挨拶

14:10 張律(チャン・リュル) 監督の講演(45分・同時通訳)

15:00 張律監督が選んだ日本映画:「晩春」上映(108分)/上映後休憩10分

17:10 張律監督と田井肇氏(大分・シネマ5支配人)によるトーク(45分・同時通訳)

18:00 終了

晩春 デジタル修復版

1949/松竹(大船)/白黒/108分/DCP上映
 監督:小津安二郎 出演:笠智衆、原節子



©1949/2015松竹株式会社

張律 (チャン・リュル)

映画監督。1962年中国・吉林省延辺朝鮮族自治州延辺市生まれ。延辺大学卒業(専攻は中国文学)後に北京に拠点を移し、小説家として活躍する。2001年に短編映画「11歳」で初めて監督を務める。2004年に初の長編映画「唐詩」を発表。2012年~2020年に韓国・延世大学コミュニケーション大学院映像学特任教授及びグローバル人材大学所属教授。2023年福岡アジア文化賞芸術・文化賞受賞。

観覧料 (事前申込、当日とも) 一般=1,000円 学生・留学生=500円

事前申込み方法 ①催し名(「張律監督講演会」) ②氏名(参加者全員) ③連絡先

メールアドレスまたはFAX等を明記の上、メールかFAXでお申し込み下さい。

メールアドレス: fuunesco2014@gmail.com | FAX: 092-733-1291

※講演会と映画上映はセット料金/講演のみ・上映のみでも同観覧料

※学生・留学生の方は要身分証提示 ※高齢者・障がい者割引なし

11月30日[日] 11:00からは収蔵するチャン・リュル監督作品の上映があります(通常料金/事前予約なし・当日券のみ)

主催 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ実行委員会

とまんこう

豆満江 Dooman River

2010/韓国=中国ほか/92分/カラー/35ミリフィルム上映/日本語字幕付き
 出演:ツイ・ジェン、イン・ラン

北朝鮮との国境・豆満江に近い中国の村に暮らしている12才のチャンホは、ある日、同じ歳の北朝鮮の少年ジョンジと出会う。ジョンジは妹が病気のため、いつも危険を冒して川を渡ってきていた。友達となった二人だが、村では北朝鮮からの避難民への反発が強まる。釜山およびベルリン国際映画祭等において数々の賞を受けた。



[交通アクセス]

当館の駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。市営地下鉄/西新駅または藤崎駅下車徒歩15分 西鉄バス・博多駅、天神、西新から福岡タワー南口または博物館南口下車徒歩5分・藤崎駅から福岡タワー南口下車徒歩5分 ◎所要時間は交通事情により異なります。バス運行時刻、お近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話:050-3616-2150)へお問い合わせください。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-la

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

(代表) TEL: 092-852-0600 | FAX: 092-852-0609

うえぶシネラ = <http://www.cinela.com> ⇒

発行: 映像ホール・シネラ実行委員会
 グリーン購入法に適合している用紙を使用しています

助成: NCF 公益財団法人 西日本シティ財団

